

# CELADON NOW

TECHNIQUES AND BEAUTY HANDED DOWN  
FROM SOUTHERN SONG TO TODAY



福島善三《中野月白瓷匏文鉢》(部分) 2012年

# 青磁のいま

—受け継がれた技と美 南宋から現代まで

2015年  
10月10日(土) → 11月29日(日)

休館日 ○月曜日(ただし10月12日、10月26日、11月9日、11月23日は開館)  
開館時間 ○9:00~17:00(入場は16:30まで)

観覧料 ○一般 1,000(800)円、70歳以上の方・学生 800(600)円

※( )内は前売りおよび20名以上の団体料金。※18歳以下の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料。

※前売券は、ローソンチケット(Lコード 61338)、セブンチケットおよび県内各プレイガイドでお求めになれます。

◎教育文化週間(11月1日~7日)の開館日は、「普通展示」が無料でご覧いただけます。

主催 ○青磁のいま展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社、KRY山口放送)、NHKプラネット中国  
後援 ○山口県教育委員会、萩市



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400  
URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.jp/>



祝  
HAGI

# 青磁のいま

— 受け継がれた技と美 南宋から現代まで

緑色を基調とした美しい釉色が特徴の青磁は、古代中国における玉への憧れから生まれたとされ、古来日本でも天皇や貴族、武家、茶人らに珍重愛玩されてきました。現代においても、その美質に魅入られた愛好家のみならず、数多くの制作者が自己を表現する対象として青磁の技術を競い合っています。本展では、第Ⅰ章で日本に伝わった中国・南宋時代(12~13世紀)の官窯や龍泉窯の名品を、第Ⅱ章では青磁の美しさに魅せられてその再現に全身全霊を傾けた、板谷波山や岡部嶺男など11名の物故作家の作品を、第Ⅲ章では重要無形文化財「青磁」の保持者(人間国宝)・中島宏をはじめとする現役の気鋭作家10名の個性豊かな最新の青磁まで、時代精神を映し出した約120点を一堂に展示して青磁の魅力に迫ります。

## イベントのご案内

### ① 記念鼎談《青磁に魅せられて》 ※聴講無料・申込不要

講師○唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館工芸課長、本展監修者)  
中島 宏氏(重要無形文化財「青磁」の保持者〔人間国宝〕、本展出品作家)  
高垣 篤氏(本展出品作家)  
日時○10月10日(土) 13:30~15:00(開場13:00)  
会場○当館講座室(84席)

### ② アーティストトーク《中野月白瓷について》 ※要観覧券・申込不要

講師○福島善三氏(本展出品作家)  
日時○11月1日(日) 13:00~15:00  
会場○当館講座室(84席)・本館2階展示室

### ③ ギャラリーツアー(学芸員による作品解説) ※要観覧券・申込不要

日時○10月18日(日)・10月25日(日)・11月15日(日)・11月22日(日)  
いずれも、11:00~12:00  
会場○本館2階展示室

### ④ 月夜のナイトミュージアム ※参加無料・要事前申込

担当学芸員の解説を聞きながら鑑賞する、ナイトギャラリーツアー  
日時○10月10日(土)・11日(日) いずれも、18:30~20:00  
定員○各日30名程度  
申込○参加希望者全員の①氏名・年齢、②代表者の住所・電話番号、③希望日(複数回答可)を明記の上、9月30日(水)までに、FAX(0838-24-2401)またはハガキにて美術館までお申し込みください。なお、申込者多数の場合は抽選となります。  
※発表は10月5日(月)頃、ハガキ(参加証)の発送をもってかえさせていただきます。

### ⑤ わたしの“ちよるる。”— 鑄込み成形と上絵付け

日時○10月17日(土)・11月21日(土) いずれも、①10:00~11:30・②13:30~15:00  
会場○陶芸館多目的室

内容○山口県PR本部長“ちよるる。”の石膏型に磁土の泥漿を流し込んで型をとる鑄込み成形と、素焼の“ちよるる。”の上絵付けを体験します。ご自身が上絵付けした“ちよるる。”については、本焼き後に宅急便(料金着払い)にてお手元にお届けします。お手元に届いた“ちよるる。”をご自宅やお近くまたはお気に入りの風景の中で撮影し、twitterにハッシュタグ(#kogeiweek2015)をつけて投稿しましょう。2015年12月25日(金)までに投稿された画像はエントランスホールに掲示して公開します。(ただし、当館が展示に不適当と判断した画像は展示対象から外れる場合があります。)

募集○各回16名(受付先着順とします。小学生以上が対象です。ただし、小学生は保護者の同伴が必要です。)応募方法は、①参加希望者全員の氏名・年齢と、②代表者の住所・日中に連絡が取れる電話番号、③参加希望日を明記の上、FAX(0838-24-2403)または電話(0838-24-2400)にて「わたしの“ちよるる。”」係あてにご応募ください。

## 次回特別展示のご案内

「シリーズ山東文物9 中華の服飾芸術」

12月12日(土)~2016年1月17日(日) 休館日:12月21日(月)、12月28日(月)~1月1日(金・祝)



①《青磁盤》中国・南宋時代 官窯 12~13世紀 東京国立博物館／②重要文化財《青磁輪花碗 銘 馬蝗絆》中国・南宋時代 龍泉窯 13世紀 東京国立博物館／③板谷波山《青磁竹節花瓶》1926~43年頃 出光美術館／④岡部嶺男《窯変米色瓷博山炉》1971年／⑤中島宏《青瓷彫文花生》2012年／⑥高垣篤《茜青瓷-屹立》2005年 東京国立近代美術館

## 交通のご案内

### 【新山口駅から】

●防長バスまたは中国JRバスで萩バスセンター、または萩・明倫センター下車  
萩バスセンターより徒歩約12分  
萩・明倫センターより徒歩約5分

### 【東萩駅から】

●タクシー約7分  
●萩循環まあるバス約30分または徒歩約30分

### 【山口宇部空港、または萩・石見空港から】

●萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70分(利用前日までに要予約、電話0838-22-0924)

### 【自動車】

●「中国自動車道」美祿東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分  
●「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い

